

## 射水市民 国際交流会主催イベントでの蕎麦打ち体験

中野克彦 (江戸ソバリエ・ルシック)

平成 29 年 12 月 17 日、射水市櫛田コミュニティセンター体育室・調理室にて「日本のお正月を先取り」と題した射水市民国際交流会主催「六角凧づくり&手打ちそば体験」の蕎麦打ちを担当させていただきました。

参加者はアメリカ、ロシア、ブラジル、パキスタンなどから来日されている方たち親子 20 名です。

午前中に凧作りと凧上げを予定していましたが、前日から北陸は大寒波、冬将軍の居座りで大雪となり、一晩での積雪が 45cm となり参加者から遅れますや、欠席の連絡が入りスタッフも対応に一苦労、なんとか凧づくりが始まり体育館の中での凧揚げ体験となりました。

その後、蕎麦打ち体験と蕎麦の食べかた教室の予定をしていたのですが、時間が大幅に遅れてしまい、蕎麦打ち体験は中止となり、蕎麦の打ち方を写真付資料で説明して蕎麦のデモ打ちを見てもらう事になりました。又、ソバの実や一番粉、二番粉、三番粉、更級粉などを実際に触ってもらいました。

実際の蕎麦打ちを見るのが初めてという子供さんも多く、興味深々で見させて頂きました、それから茹で方や、湯切りの仕方を実演しました。

本来は新蕎麦なので《ざる蕎麦》を先に食べてもらう予定でしたが大雪で大変に寒く、温かい蕎麦との声が多く、各自で蕎麦の茹でと湯切りを行ってもらい、早々に熱々の蕎麦をすすってもらいました。

お腹も落ち着き少し体が温まったところで今度は《ざる蕎麦》をいただく事になり『HOW TO ENJOY SOBA』を説明し、食べてもらう事にしました。

上手くお箸を使って食べる人もいましたが、箸に巻いて食べる子も見受けられ、皆さんに美味しい蕎麦と蕎麦の香りを楽しんでいただけた様でした。

最後に感想と質問を受けた内容で蕎麦打ちを体験したいとの感想が多く次回教室を開催する事となりました。

又、子供たちの質問の中に『HOW TO ENJOY SOBA』のイラストで「いただきます」や「ごちそう様」の時になぜ手を合わせるのか？（仏壇やお墓じゃないのに）や、蕎麦猪口はなぜ手に持つのか？ スープは置いてスプーンですくって飲むのに！ 蕎麦を食べ終わった後に、箸をなぜ箸袋に戻すのか？ 等、今回、想像もしていなかった質問が飛び交い、当たり前前の蕎麦の食べ方について、改めて自分も勉強させていただきました。

親御さんたちから「参加出来なかった方々や友達の分として『HOW TO ENJOY SOBA』を持って行きたい」、「今まで教えてもらったが、こんな解りやすく説明したイラストや文章は見たことがない」と大変に好評でした。

以上



蕎麦打ち①



蕎麦打ち②



食べる



HOW TO ENJOY SOBA を読む